

# ロタウイルスワクチンを接種しましょう！(生ワクチン)

ロタウイルスワクチンの接種が、令和2年10月から定期予防接種になりました。下記の内容を御確認いただき、できるだけ標準的な時期に接種しましょう。

**定期予防接種**：予防接種法に基づき市町村が実施します。対象となる疾病にかかりやすい時期を考慮して対象者が定められ、接種対象者(保護者)は予防接種を受けるよう努力する義務があります。

**任意予防接種**：定期予防接種以外の予防接種です。接種者や保護者の判断により接種し、費用は自己負担となります。

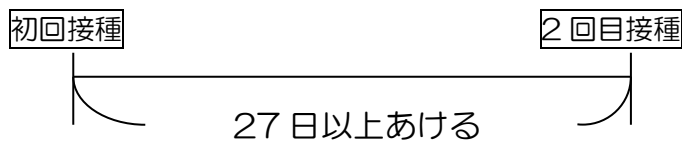
■ **対象者**      **生後6週からロタリックス(2回接種)は24週(約5ヵ月半)まで**  
                         **ロタテック(3回接種)は32週(約7ヵ月半)まで**

■ **接種費用**      **委託医療機関での接種無料(全額公費負担)**

## ■ 標準的な接種時期・回数

\*初回接種(1回目)は生後6週から14週6日までに接種することが推奨されています

- ・ロタリックス：4週以上の間隔をあけて2回目：合計2回      生後24週まで  
(1価)



- ・ロタテック：4週以上の間隔をあけて2回目、3回目も4週以上あける：合計3回      生後32週まで  
(5価)



どちらのワクチンも口から飲んで接種します。途中でワクチンの種類を変えず、同じ種類を接種しましょう。

## ■ 接種方法

### 1. 町と契約した下記の委託医療機関に直接電話で予約する。

\* 委託医療機関名(電話番号)

- ・医療法人社団オロロン会苫前クリニック(64-9070)
- ・JA北海道厚生連苫前厚生クリニック(65-3535)

### 2. 予約日に接種する

\* 予防接種の際に医療機関に提示してください

- ・健康保険証など氏名、生年月日、住所が記載されているもの
- ・母子手帳

長期間住民票を異動させずに他の市町村に滞在するなど、やむをえない事情により委託医療機関以外の病院で接種を希望する場合、**事前に手続きが必要**になります。

## ■ロタウイルスについて

### ●ロタウイルスとは

乳幼児の急性重症胃腸炎の主の原因となる感染力の強いウイルスです。5歳前の急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。

5歳までにほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれていますが、大人はロタウイルスに何度も感染している経験があるため、殆どの場合、症状が出ません。

乳幼児が初めて感染した場合は激しい症状が出る 경우가多く、2～4日の潜伏期間の後、下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛が起こります。脱水症状が強くなると点滴の処置や入院治療が必要になることがあります。

#### ・ロタウイルスワクチンとは

ヒトロタウイルスを弱毒化した生ワクチンです。ほかの予防接種同様、接種後30分はショックやアナフィラキシーが起きないか、体調の変化を観察しましょう。

副反応として腸重積があります。腸重積とは、腸の一部が隣接する腸に入り込み、閉塞状態になります。ワクチン接種にかかわらず、3ヵ月～2歳くらいまでにかかりやすく、3、4ヵ月から月齢が上がるにつれて発症が多くなる病気です。ワクチン接種後1～2週間はかかりやすくなるという報告があります。接種後に次のような様子がみられるときは、医療機関を受診しましょう。

突然はげしく泣く

嘔吐を繰り返す

便に血が混じる

ぐったりして顔色が悪い

機嫌がよかったり不機嫌になったりを繰り返す

### ●健康被害救済制度

予防接種法に基づき予防接種を受けた副反応によって障害が発生し、または死亡した場合、当該予防接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときに、苫前町は予防接種法の規定に基づき医療費などの給付を行います。

## ■お問い合わせ先

予防接種に関する費用助成、一般的な注意事項等、御不明な点がございましたら下記までお問い合わせ願います。

苫前町保健福祉課保健係（電話64-2215）

